



吉田 稔 筆

令和3年3月 No.136

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



増尾地域の未来を考える

中原ふれあい防災公園

今年度は新型コロナウイルスの影響で、多くの行事がなくなり、人と人のつながりの場が大幅に減りました。

地区社協部では、毎年、地域の課題について町・自治会、小中学校PTA、ふるさと協議会のメンバーで意見交換を行う「地区懇談会」を開催しています。今年度も「新しい地域のかたち」をメインテーマとして予定していましたが、再度、緊急事態宣言が発令されたため中止になりました。準備の段階で、地区社協部員でテーマについて話し合いました。

その中で「引っ越してくる人は、地域になかなか

めず、地域とのつながりを持つことが難しい。子どもたちが早く地域になじめるような手助けが必要である」という意見が出ました。このような問題に取り組むことで、新住民も地域に溶け込み、安心して子育てができる増尾地域になるのだと思います。

現在、「サロンつちのこ・ますのこ」「子育てサロン増尾・加賀」など、子どものつながりの場があります。今後、これらの活動をより充実することを含め「増尾地域を住みやすい街にする」ための方策を皆さんと考えていきたいと思っています。 地区社協部 花島 和宏



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

サンパセオ新柏管理組合

サンパセオ新柏は、居住世帯数約400戸、居住者千人弱の5棟で構成するマンションです。自治会活動は、管理組合の一組織である地域担当分科会が担っています。以前は自治会がありましたが、任意加入のため高齢化に伴い退会者が増え、加入世帯が全世帯の半分近くになりました。そこで、2018年に自治会を解散し、管理組合内に自治会活動を行う地域担当分科会を設けました。また、自主防災組織は、1年交代の管理組合役員に加え、継続活動が可能な防災ボランティアを募集して要員を確保しました。

すでにマンション建設後30年以上が経っており、居住者の高齢化とともに1人世帯も増えてきました。

防災の観点からは居住者の交流をベースとした共助による見守り体制が不可欠となっています。

地域担当分科会では、高齢者対象の「新柏ふれあいサロン」を立ち上げ、近隣の高齢者もお誘いして交流の場を設けていますが、現在はコロナ禍ということもあり、活動は休止状態となっています。

最近では若い世代の転入者が増え、子どもたちの歓声も復活してきました。今後の課題として、ウィズコロナの中で幅広い世代に通じた親睦と交流の場を、どんな形で設けていくか検討していきたいと思っています。 地域担当分科会 正木 秀明

サンパセオ新柏管理組合



小さなクリスマス会

子育てサロン増尾

2020年12月21日(月)に増尾ふるさと会館で「子育てサロン増尾クリスマス会」を開催しました。

新型コロナ感染防止のため、11月中旬からサロンを休んでいましたが、クリスマスだけは何とか楽しく過ごして欲しいと思い、人数を少なくするなどのできる限りの対策を行った上での開催でした。

いつもの部屋がクリスマスの飾り付けで賑やかな雰囲気。そこへ大きな白い袋を背負ったサンタさんが登場。何が入っているのかな。

サロンを長くお休みしていたので、せめてすてきなプレゼントをと思っていたところ、「サロンつちのこ」のボランティアのみなさんが、アドベントカレンダーを作ってくれました。ママたちからは「カワイイ!!」の歓声。

みんなでクリスマスカードを作ったり、『あわてんぼうのサンタクロース』を歌ったり、楽しいひとときを過ごしました。



手作りのアドベントカレンダー

子育てはノンストップです。コロナで外出ができず、孤独感を覚えたママもいると思います。「地域で子育て」が子育てサロンの役目です。不定期の開催が続いていましたが、コロナ明けには、どうぞ気軽に遊びに来てください。

子育てサロン増尾
風間 理恵

後に「幸」の字を当てたこと、大津川の支流と陸路が交差する旧地名の「本郷」が増尾の中心部であったであろうこと、幸谷城館跡と増尾城址の関係は、住居と軍事拠点としてそれぞれ別の機能で併存していたなど大変興味深い内容でした。参加者は、2時間程の話に熱心に耳を傾けていました。

講演の様子は、動画として編集し、「柏市増尾地域ふるさと協議会」<https://sites.google.com/site/masuofk>に掲載しています。ぜひご覧ください。

地区社協部 大江 幹



歴史ある古民家で昔をたどります

土小で花壇作りに協力

ペレニアル花倶楽部

2020年12月8日(火)、土小学校の新しい花壇の植え付けのお手伝いをしました。土小PTAの役員さんからお話があり、保護者の方数名と一緒に行きました。

4か所の花壇にそれぞれ「土っ子」「なかま」「たのしく」「なかよく」の花文字を作ります。色とりどりのピオラの花苗を仮置きし、位置を決めてから植えつけました。満開時に、文字がはっきり現われるのが楽しみです。

ペレニアル花倶楽部



3月「土っ子」の文字を紫と白のピオラが描き出しました

ふるさと増尾の中世をたどる

地区社協部

2020年12月10日(木)、伊藤家住宅主屋(2018年に主屋・離れ・隠居屋など6棟が国登録有形文化財として登録)をお借りして、歴史講演会「ふるさと増尾の中世をたどる」と題し、日本考古学協会会員で千葉県文化財保護指導委員の間宮正光先生に講演していただきました。コロナ禍の中、参加人数制限、マスク着用の義務付けなど感染予防対策を講じての開催でした。

増尾の地名が歴史に登場するのは、鎌倉時代後半で、「堰尾村」「益尾村」などの表記で古文書に記載されていること、「幸谷」は元々荒地(開墾地)をさす「荒谷」で

ふるさと協議会からのお知らせ

2021年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、2021年5月9日(日)に開催予定です。出席者には追って詳細をお届けします。